

川柳 さいたま

第5回 彩栄賞発表号



クリスマスローズ

代役の(こころ)

願法みつる

欧米の歌謡興業に「アンダー・スタディ」と呼ばれる仕事があるとの記事に触れた。舞台の役者や歌手の急な休演などに備える代役候補のことだそう。記事には往年の人気歌手の逸話が紹介されていた。彼が公演中、父親の危篤を伝える急報が郷里から届いた。旅立つ前に、念のために代役の稽古を見に行くと、恐ろしく歌がうまかった。そこで彼は帰省を取り止めたというのだ。留守中に役を奪われるのを警戒してのことだという。欧米らしい文化性である。映画ライムライトでのプライド高い女優の場面を思い出す。

日本の興行界も多分に欧米化した現状ではあるが、伝統分野ではまだ多分に色濃い世界である。昨今様々な名優の急病や急逝もあった。その辺の事情に詳しい方々はご承知なのだろうが、歌舞伎界や演劇界の役者達にも代役候補は居られるのだろう。それにしても、日本の舞台役者の年齢層が年々高齢化してゆく様子を眺めながら、世代交替の難しい時世になってきたのかなと、素人ながら案じている。勿論、政治の局面などに似て代役がくるくる転変するのでは困るのだが。

川柳界においても、若手の「アンダー・スタディ」の出現が望まれているのかも知れない。

十二月号 目次

堅太郎句抄(終)	表紙	2
巻頭言 代役ということ	願法みつる	1
彩玉集——同人吟		2
古丘の世界	文・今村 寿子	5
第五回彩栄賞		6
雑詠	願法みつる選	11
映像川柳	石田 正則	11
七七句	松田重信選	20
石井昇氏を偲ぶ		24
交替鑑賞 七七句あれこれ	戸田美佐緒	28
初歩添削講座「さわやか」雑詠	加藤孤太郎	30
題詠 「回る」	垣塚 幸三 選	34
「乱れる」	梶野 正二 選	36
「無駄」	金井 春江 選	36
さいたま十月句会		36
編集さろん		3
句会案内	表紙	4
表紙(題字・清水 美江 写真・千葉 古丘)	表紙	4

平成25年

12月号 (No.649)

日川協加盟